

教育研究業績書

2018年05月14日

所属：教育学科

資格：准教授

氏名：橋詰 和也

研究分野	研究内容のキーワード
特別支援教育	肢体不自由教育、インクルーシブ教育システム、発達障害
学位	最終学歴
社会学士	大阪教育大学特殊教育特別専攻科言語障害教育専攻

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 特別支援教育のシステムと発達障害児の理解と支援	2013年5月2012年1月	但馬地域300人を対象に演習を交え三時間研修の実施
2. 阪神間肢体不自由特別支援学校 7 校合同専門研修	2010年5月～現在	年間 5 ～ 6 回勤務後に、阪神間の肢体不自由特別支援学校、知的障害特別支援学校教員が参加し、特に肢体不自由に係る専門研修会、事例研究会を実施。
2 作成した教科書、教材		
1. みんなの教室みんなの授業－教育のユニバーサル－	2015年3月31日	伊丹市特別支援連携協議会の座長となり教師向けの手引き書を二年続けて発刊し研修会等で使用
2. 特別支援教育ハンドブック Q&A	2014年3月31日	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 神戸市立特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教育課程編成の手引作成委員会専門委員	2017年10月1日～現在	特別支援学校学習指導要領の改訂にあたり、神戸市立の特別支援学校、特別支援学級教員向けの教育課程編成の手引き書を作成、発刊を目的とする委員会の専門委員として指導助言を行う。
2. 伊丹市特別支援教育審議会委員	2016年4月28日～現在	伊丹市の特別支援教育の在り方について教育、福祉、労働、医療等の関係機関が一堂に会し審議を進める。審議会を母体とし、ワーキンググループを組織し、特別支援教育に係るリーフレットやハンドブックなどを刊行する。
3. 近畿特別支援学校（養護学校）研究指定校への指導助言	2016年4月1日～現在	近畿圏内府県市立特別支援学校の内、教育委員会指定研究校からの招聘により当該校への指導助言を行う。2018現在、兵庫県立特別支援学校3校、市立特別支援学校4校において実施。
4. 明石市特別支援教育スーパーバイザー	2016年4月1日～現在	明石市教育委員会主催、幼稚園・小学校・中学校長会主催の特別支援教育に係る研修会等における講師、明石市市内の特別支援教育に係る幼児児童生徒の相談等について指導助言を行う。
5. 近畿、県内幼小中学校園への教育相談、研修へ招聘	年間 20 回程度～現在	学校園での子どもの状況を見て、教員、保護者、管理職等への具体的なアドバイスを行う
6. 管理職、教員、保護者への各種研修会、講演へ招聘	年間 30 回程度～現在	発達、認知、言語コミュニケーション、自立活動、発達障害等に加え、この数年間はインクルーシブ教育システムの依頼が多い
4 その他		
1. 本県の障害児教育の現状と今後の在り方（兵庫県）	2006年3月	兵庫県が目指す特別支援教育の基本理念、盲聾養護学校の現状と在り方、小中学校の障害児教育の在り方、乳幼児期から卒業後までの一貫した支援、教員の専門性などについて責任担当者として執筆し、「特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議」（兵庫県教育委員会）より提言をした。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 中学校教諭1種（社会）、高等学校教諭1種（社会）、小学校教諭2種、養護学校教諭1種	1979年3月31日～1980年3月31日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 兵庫県教育委員会障害児教育室「本県の障害児教育の現状と今後の在り方（提言）」	2006年3月	兵庫県教育委員会障害児教育室勤務の際「特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議」を主担当として開催し、40頁の報告書を執筆し現在も県の指針となっている。
2. ひょうご学習障害相談室の開設	2004年6月1日	兵庫県教育委員会障害児教育室主任指導主事兼指導係長として同事業を実施し、全国に先駆けて発達障害にかかわる相談室を開設し、兵庫県内から専門スタッフを招聘した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
3. 盲・聾・養護学校医療的サポート推進事業システム構築と実施	2002年4月1日	兵庫県教育委員会障害児教育室指導主事として同事業を推進し、今では特別支援学校の一般化したシステムとなっている医療的ケアの原型となるシステムを構築した。
4 その他		
1. 教育改善・改革プラン（平成27年度採択提案）障がいのある学生への合理的配慮アクション	2017年12月19日	「武庫川女子大学及び武庫川女子大学短期大学部障がいのある学生支援」の基本的考え方、基本方針を立案し、2017年には学生サポート室の開設につながった。
2. 兵庫県教育功労賞授与	2015年12月15日	兵庫県教育の振興に貢献し、その行為が広く県民の模範となる功績があった者として兵庫県知事より表彰を受ける。
3. 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会感謝状授与	2012年6月26日	校長職で全国特別支援学校肢体不自由校長会理事、近畿特別支援学校肢体不自由校長会会長、兵庫県特別支援学校肢体不自由校長会会長等の歴任により受賞

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発行の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

1 著書				
1. 障害の重い子どもへのかかわりハンドブック～マルチアレンジングサポートの観点から～	共	2016年3月18日	社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団	Ⅱ【指導の手順】P16～P32、Ⅲ【発達の概観】P53～P64、P70～P79、P91～P96、Ⅳ【指導のポイント】P102～P106、P112～P120 橋本正巳、橋詰和也、石倉健二ほか著 障害の重い子どもへの具体的な指導の手引きとなり、本著では、発達、認知、言語、コミュニケーションなどについて詳細に執筆した。ハンドブック全体としては、障害の重い子にかかわる現場の教師がエビデンスを求め得られる著書となっている。
2. 特別支援教育ハンドブックQ&A	共	2014年3月	伊丹市教育委員会	Ⅳ【総論】5P86～P97 柘植雅義、梶田叡一、橋詰和也ほか著 特別支援教育指導の実践編として、通常学級、特別支援学級、特別支援学校、特別支援教育コーディネーター、校内体制、連続した学びの場の各編をQ&Aで、さらに理論編、資料編を加え現場活用書とした。
3. 小・中 特別支援教育コーディネーターのための実践・新学習指導要領	共	2009年	教育開発研究所	柘植雅義、橋詰和也ほか著 特別支援学校のセンター的機能により援助を受ける 3章小学校・中学校新学習指導要領（総則）における特別支援教育P77～P78 特別支援学校の地域支援を受けることによる小中学校のメリット、援助を受ける方法等を紹介。
4. 療育の窓	共	2003年	全国心身障害児福祉財団	古川勝也、中村雅彦、橋詰和也ほか著 兵庫県における医療的ケア8年の歩み 特集養護学校における医療的ケアへの対応P30～32 養護学校における兵庫県の医療的ケアの考え方と実施内容、今後の課題を紹介

2 学位論文				

3 学術論文				
1. 特別支援学校教育実習指導の提言と展望	共	2018年02月23日	武庫川女子大学 学校教育センター年報 第3号	5 実践力養成のための教育実習の在り方についての提言 P29～P31 私立大学での特別支援学校教育実習について、過去5年間の実習学生数及び実習校の分布、実習学部等について集計し、過去2年間の実習報告書による学生の自己評価の記載内容を解析した。自由記述による自己評価についてのコレスポネンデンス分析の結果を加えて、実習指導の講義カリキュラム構成と内容など実践力養成のための教育実習の在り方について提言を行った。中村明美、高井弥生、橋詰和也、宇野里砂 共著
2. チーム力で高める授業づくり	共	2012年3月	特別支援教育NO.45 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課	各論P20～P23 肢体不自由特別支援学校での小学部の実践を紹介し、授業改善による子ども変化を執筆 細川佳代子、秋田喜代美、橋詰和也ほか著
3. 一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな教育の充実	共	2011年3月	小児看護 Vol.34 No.2 へるす出版	カラーグラフP134～P139 看護著書で初めてとなる特別支援学校の紹介。一人ひとりにきめ細やかに、チーム力を高め動く伊丹特別支援学校の実践を紹介。勝田仁美、橋詰和也、下山直人ほか著
4. 特別支援教育を推進する 学校経営に関する一考察	共	2009年7月	神戸親和女子大学教育研究センター紀要	3 肢体不自由特別支援学校での実践(1)～(3) P33～P40 肢体不自由特別支援学校での事例と課題をあげ、実践事例に関する検証を記した。大林恵子、橋詰和也著

その他				
------------	--	--	--	--

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 本県の障害児教育の現状と今後の在り方	単	2006年3月	兵庫県教育委員会 障害児教育の在り方検討委員会	兵庫県が目指す特別支援教育の基本理念、盲聾養護学校の現状と在り方、小中学校の障害児教育の在り方、乳幼児期から卒業後までの一貫した支援、教員の専門性などについて責任担当者として執筆と提言をした。
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年4月～現在	一般社団法人日本LD学会
2. 2010年4月1日～現在	阪神間の特別支援学校教員有志による特別支援教育自主研修会（手と手の会） 肢体不自由特別支援学校7校合同専門研修
	阪神間